

肝疾患診療における プライマリーケア医と専門医の 連携を再考する

横浜市立大学附属病院では、肝疾患診療連携拠点病院として、地域の医療従事者の皆様を対象に、肝炎をはじめとする肝疾患全般の診療水準の向上を目的とした研修を実施しています。
今回は「肝疾患診療におけるプライマリーケア医と専門医の連携を再考する」をテーマに、代謝機能障害関連脂肪性肝疾患（MASLD）についての講演を予定しております。ぜひご参加ください。

2025年 9月10日（水）19:00～20:15



横浜市立大学みなとみらいサテライトキャンパス
(横浜ランドマークタワー7階)



ZOOMミーティング併用



アクセス

総合司会

神奈川県内科医学会 肝・消化器疾患対策委員長

岡 正直

講演 1

「脂肪性肝疾患：MASLDとMetALDについてのアンケート調査」
～肝・消化器病専門医、糖尿病専門医、非専門医での診断、治療介入に関する調査～

横浜内科学会（済生会横浜若草病院）

菱木 智

講演 2

「変わりゆく肝疾患診療
～MASLD（代謝機能障害関連脂肪性肝疾患）～」

横浜市立大学肝胆膵消化器病学 主任教授

米田 正人

参加を希望される方は、右のQRコードより事前登録をお願いします。
【登録締切：9月7日(日)】



【日本医師会生涯教育単位】 カリキュラムコード 12(0.5単位)、15(0.5単位)
生涯教育単位は会の終了後に出席を確認し付与されます。

共催 神奈川県内科医学会／横浜内科学会／横浜市立大学附属病院
事務局 横浜市立大学附属病院 医学・病院企画担当 (md_plan@yokohama-cu.ac.jp)